

地区長会報

第 2 号

古利根川清掃



活動報告



粕壁地区長会会長
三枚橋地区長

小菅 正造

この度図らずも皆様の御推挙をいただき、粕壁地区長会の会長に就任いたしました。

もとより微力でその任ではなく、果たしてその重責に堪えられるのか多分に懸念されますが、御推薦を受けました以上心を新たにし、身を粉にして職責を遂行いたす所存でございますので先輩皆様の格別のご指導、ご鞭撻並びに地区皆様の強力なご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

今や社会・経済・政治の一大変動期に当たり、高齢人口の増加に伴う高齢化社会の驚異的な早さで進み、近く画期的な二十一世紀を迎えます。

かかる時局に即応して、この生活を若い人にも高齢者にとっても大きな課題であると思えます。この様な時における地区長

の役割にも一段と重要性が加わると思っています。

そこで当地区長会としては、各地区との連携を密にすると共に行政との連携を一層密にし、地域住民の日常生活に出来る限りの便宜を図ることを重点的に事を進めることが肝要かと考えます。以上の趣旨に基づき精進し更に市の発展とともに地区の生活環境の向上に努力いたす所存でございますので、何卒格段のご支援ご協力をお願い申し上げます。

私共町会の、現在の世帯数は六百三十世帯ですが、新たなマンションが町会へ入会いたしました。約七百世帯になると思いますが、町会の位置は旧四号線沿いの商人町で、私が町会長に推薦されたときはまだ四百世帯位でしたが、市民文化会館又ロビンソン百貨店、内谷陸橋が完成して都市化が進んで参りました。

私も町会長に推薦されて十九年になりますが、何と言っても一大事業としては町内会館の建設でございました。市当局の絶大なご支援と、町会全戸のご協力により完成いたしました。町会の城として又会員の皆様方

の地域のコミュニティを大切に考えて町会発展の場所として各種団体の会合に利用されております。

町会の行事も年間を通じて数多く、役員の皆様の積極的な協力で推進しております。特に大きな行事としましては、夏祭り参加、地区体育祭、自主防災訓練、夏休みの行事として納涼大会、少年ソフトボール大会と春夏・秋の巡回補導等ですが、行事の実施には月一回の代表者会議で案を作り、理事会で決定し会員の皆様方が大勢参加出来るように努力しております。これからも行政との連絡を密にして、町会発展のため一生懸命努力して参りますので、今後ともご指導をよろしく願います。

防災訓練



私達の住む新川地区

新川地区長

山口 益雄



私達の故郷である新川地区は、春日部市幸松地区の東部、庄内古川に沿って、南北に位置し、庄内古川と新倉松川に挟まれ、世帯数は八十戸と小さな地区であります。

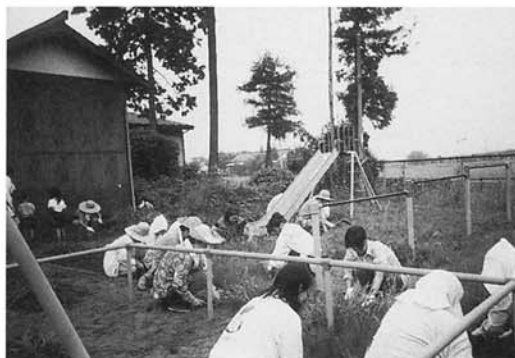
南側は東武野田線の牛島駅、北側は東西に通る国道十六号線、そして中央には、春日部駅から千葉県関町行ききの路線バスが有る県道西宝珠花線が通っていますので、交通の便は良い方だと思います。

当地区はほとんどが調整区域のため、人口・世帯数の急増はほとんどなく、市制施行当時の世帯数は三十戸余りで、それから四十数年経ち現在の世帯数になりました。

地区住民も昔からの人が多く地域活動への参加も積極的で、住民相互の親睦はきわめて良好です。

特に当地区の旅行会は、発足以来三十年余り続いており、二十歳代から六十歳代の男性のみ

公園清掃



の会員で毎年開催し、毎回四十名近くの参加者となっております。

この会が当地区の母体となり、地区の行事、活動に非常に貢献しており、地区全体がまわり、なにことも問題なく行われております。

私達の地区行事は、

- 一月 新年会
- 二月 不動様の祭礼
- 三月 香取神社の春の祭礼
- 五月 地区総会、地区内の美化運動
- 七月 親睦旅行
- 八月 子供会の名所旧跡の見学
- 十月 地区内の美化運動
- 十一月 香取神社の秋の祭礼
- 十二月 集会所、香取神社の大掃除、忘年会

その他グループによる、老人会のゲートボール、カラオケ大会、婦人部の健康体操等を集会所において行っております。

これからも地区のコミュニティを図り、私達の住む地区が住み良い故郷でありますよう、今後とも微力ですが、一生懸命努力を致すつもりでありますので、地区の皆様のご理解とご協力を節にお願い申し上げます。



私達の住む町

地域活動の紹介

中野町会長

中村 利男



中野町会は、武里駅西口より西に約二キロの閑静なところにあります。

私達の住む町会の世帯数は、市制施行当時は、六十五戸余りでしたが、現在では約三百二十戸に増加しました。名称については、永年呼称し

てきた「中野地区」は「中野町会」に、そして、「地区長」は「町会長」に改められました。

当町会の活動は、毎年四月の総会の開催でスタートします。総会では、前年度の事業、決算、監査報告、次に、新役員の承認（役員の任期は二年）、新年度の事業計画、予算等の審議決定が行われます。

役員会は、二ヶ月に一度開催し、「報告」「連絡」「相談」を、活気あふれる雰囲気で行っています。年に一度、親睦を兼ねて研修旅行を行っています。行動ができる町会、住民参加ができる町会を目指して懸命に活動しています。

町会の行事は、町会役員が率先して行っています。地区体育祭等への参加を始め、平成四年と五年には、大気汚染や自然環境破壊等について、日常生活の中でどのように考えていくべきかを学習するために、県庄和浄水場・環境衛生センター・資源選別センター・防災センター等公共施設めぐりを企画、実施しました。

また、中野を安住の地として移住してくれた人々と既住民との交流が一層必要であると考え、相互のコミュニケーションを図るために、毎年、町会主催の新年会を実施しております。

特に、今年には出席者も多く、盛大に開催され、皆さんは充実した時間を過ごされました。

さらに、平成七年一月に起こったあの凄まじい阪神大震災を教訓として、「いざ」という時に備え、当町会でも自主防災組織を結成し、平成九年十月十九日に防災訓練を実施しました。会場には約九割の住民が参加され、心一つにして訓練が出来た事を自負しています。他にも町会の行事は年間を通して数多くありますが、この訓練も行事の一環として継続したいと考えています。

今後とも、町会の皆様方のご支援とご理解により円滑な運営が出来ますよう、よろしくお願いを致します。

クリーンセンター見学会





大枝地区長

山内茂樹

大枝地区自治会は春日部市の最南部、越谷市と隣接し、行政上道路・河川等の問題についても難しい地域ではなからうかと考えます。

昭和二十年の終戦のころは、大枝地区全体での世帯数は、農家六十三世帯、非農家(その他商店等)九世帯合わせて七十二世帯で、まわりは田及び畑の耕作地で、一カ月遅れの正月(二月一日)を静かに迎えることが農村地帯の風景でした。心身共に清らか思考で一日の行事を過ごす時代に比べてみると、時の推移はまさに「光陰矢の如し」その言葉の通りとうなずけます。

時代も変わり、昭和四十一年四月武里団地が建設され、続々と入居し、急激に大枝地区内外の人口が増加して、自治会が数多く誕生しました。

現在では、大枝自治会、大枝東自治会、池の端自治会、千間一丁目自治会、大枝南自治会、

シティプラザ自治会の六自治会で、総世帯数二千四百以上の世帯数に変わっている昨今です、各自自治会共その地域内に居住し、共存共栄を考ええる人々で自治会が組織されており。

共通の利益のため又個々の豊かな生活を確保することを目的として、地域との連絡又は意見の交換等で吸収された情報の活用因る、自主的な運営を基に全自治会の自主性を尊重し交流を深め、地域住民との親睦を図り、明るく住みよい地域づくりを目指し、生活環境の向上発展のために、大枝自治会連合会が平成四年四月創立し、現在に至っております。

大枝六自治会が一つに纏まって数年たち、二カ月に一度、第三日曜日午後七時より当番自治会の集会所で各々自治会二名位出席して懇親会を含む定例会が開かれております。この際、それぞれの自治会の特徴ある運営などの為になるお話しが出来て本当に有意義な集まりです。二カ月に一度ですから当番は一年に一回です、毛利元就ではないですが、六本の弓矢は本当に丈夫です。市内の地区長会でも珍しいケースではないかと思えます。

市役所へのお願ひも一自治会より六自治会一緒になっての交

涉の方が大変力強いです。このように大枝地区は、地域が一丸となり頑張っており、これからも皆様に御協力のほどをお願い致します。



豊春地区長会の活動報告

豊春地区長会書記 豊町南地区長

清水三郎

豊春地区長会では今年も、活力ある街・ふれあい豊かな街・豊春を目指して努力して行くことを、原点に戻り地区長全員で誓い合ったところです。

豊春地区は、人口四万四千一人、世帯数一万四千六百六十九世帯(平成九年十月一日現在)です。

しかし、地区に加入している世帯数は、一万一千八百三十八世帯、約八十一%と、未加入は、二千八百三十一世帯あり、いろいろ問題点を残しています。

平成九年度活動報告 ○地区長会定例会・月一回開催。

当地区長会は、十八地区の地区長で構成しており、付議する事項は、報告、協議とし、ほか広範囲の問題点を審議。 ○地区別行政懇談会 七月三日(木)に開催、三十二名が出席する。 質問十五件。

地区体育祭

十月五日(日)開催、四十三回を迎え、公民館主導のもと、代表者会議、実行委員会、準備を経て当日は昨夜来の雨でグラウンド不良なるも、実行委員全員の整備、協力で決断よく実行。 スタートは、一時間余り遅れたが約四千名が参加した。 競技と声援に、交流と親睦が深まる中、チームカラーピンクのTシャツを着た豊町チームが優勝。

社会福祉協議会豊春支部の行事活動に参画、参加

恒例メイン行事「第七回豊春福祉まつり」を十月十九日(日)地区公民館にて開催。対象は六十五歳以上の参加者四百三十五名。マジック、介護劇、民謡、舞踊と盛会の裡に終わる。

ほか三部会あり各部会にて活動。

もちつき大会

十一月九日(日)開催、恒例



バラエティーイン豊春

の地区公民館主催「第八回文化バラエティーイン豊春」に、今年も協賛し、好評の「もちつき」をする。準備中から長蛇の列のため、時間を繰り上げて、つきたてのあんころ餅ほかを配った。 ○青少年健全育成推進会議主催の「かすかべ郷土かるた大会」に副審判として参加する。 ○募金説明会に参加討議(四回)・募金活動(一回)・赤い羽根 ○春日部警察署に協力し、立て看板の撤去(二回)ポスター剥がし、歳末特別警戒をする。 ○そのほか、官公署、諸団体との連携と要望に応じて活動中。



歴史を作る

柴町二丁目町会長
板倉 肇

一面の田園を区画整理して、先住者の水路に住むフナ、メダカ等の小魚や蟹、カエルそしてそれらを食べて生きるイタチ等の小動物を追い出し、田を埋め立てながら作り上げて来て二十五年、今では空き地は殆ど皆無で、当町会は三百数十世帯が住む町となりました。

町域は用途的に住居専用地域なので、幹線道路沿いの商店街とサラリーマン等が住む専用住宅が大部分を占めます。

隣接して何千年にも互って先人によって作り上げられた里山・田畑・人家が一体となった緑豊かな内牧地域が広がります。

大勢の人が集団的に生活をする事になれば、必ず何らかのトラブル等の発生により、生活上のルールの設定及び行政との連絡折衝が必要となり、自然派生的に住民自治組織が結成されることになりました。

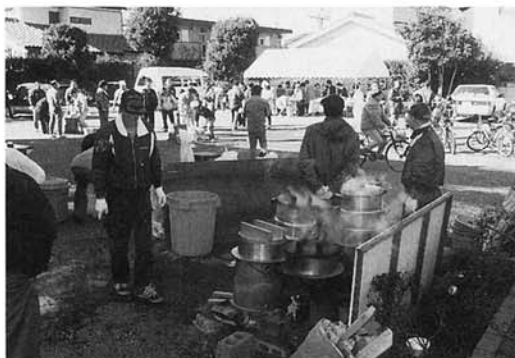
その後幾多の統合再編等を経

て現在の柴町二丁目町会となり、地区長会に加入して十年が経過しました。当初は無からの出発故、日常生活の利便性に係る広報紙等の配布伝達及び廃棄物置場の設定管理及び盆踊り大会・もちつき大会・新年会等の行事を通してお互いが理解し合うことから始まりました。

次に住み良い町を目指して、道路・水路・公園の清掃、除草の実行及び万一の為の防災用品の備蓄等を行って参りました。今では概ね平穏な市民生活が営める一段落の状態になりつつあると思います。

これも町会会員が一つの意思を持って向かった結果であると感じ致します。

もちつき大会



に、町のうるおいや道路交通の問題及び住民の高齢化等々、ハード・ソフト両面に於ける課題が山積しております。これらは一町会で解決することが困難な問題であります。住民と行政が緊密に手を取り合い、未来に向けて進むことが、真に肝要であると思います。



荻原地区長

内海 伸

私達の故里である豊野地区荻原は、東に庄内古川、西に古利根川が流れ、東武野田線がほぼ中央を横切っています。

そのため、農耕地が比較的狭いので、古くから桐箆筒や桐小箱、木櫛や竹細工などを作る仕事に携わる人が住み、その名残がみられます。

古老の話によると、昭和初期、野田町で醸造された醤油を大宮経由で全国に配送するため、総武鉄道（現在の野田線）が開通した時に藤の牛島駅が設けられたが、当時は鉄道を利用する人は少なく粕壁町に行くときは、ほとんどの人が往復の道を歩い

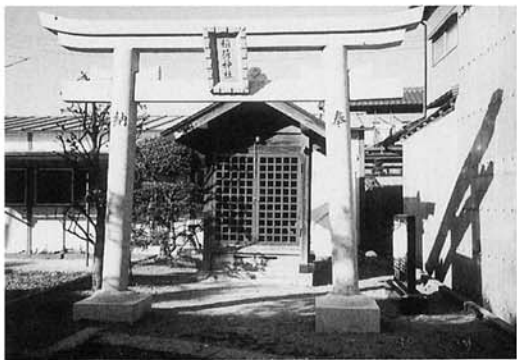
たそうです。

総武鉄道の開通時、荻原の戸数は十六軒ほどであったが、日中戦争・太平洋戦争の激動期を経て、昭和三十年からの高度経済成長期以降、駅周辺という利点をもつ荻原の戸数は増え続け、現在の戸数は二百余軒にふくれ上がっています。

このような傾向の中で、最も望まれることは新旧を問わず荻原に住む人々の融和と親ほくを図る事だと思えます。

現在、荻原も他の地区や地域と同様に話し合いで、次のような役割分担を決めて市行政に協力したり、地域内の仕事を行っています。

- 正・副地区長
- 香取神社の氏子総代



稲荷神社の鳥居

- 保健及び防犯推進委員
- クリーン春日部推進委員
- 輪番制による班長

私は、地域の皆さんの推薦を受けて参りました。その間、地域の皆さんのご理解とご協力を得まして、車地蔵の安置所と稲荷神社の鳥居の新築などが完成されました事を喜びにしています。今後の荻原地区の課題は、集会所の建設と道路の整備です。これらの仕事は、荻原に住む人達の交流と親ほくが深まる中で実現されることでしょう。



編集員氏名

- 春日部市地区長会
- 会長 山崎 攻 志
 - 副会長 本橋 正 雄
 - 副会長 小菅 正 造
 - 副会長 飯塚 一 夫
 - 副会長 斎藤 茂
 - 副会長 中島 光 男

発行日 平成十年三月一日
発行者 春日部市地区長会
事務局 春日部市役所

自治振興課内